



# 個室ユニット推進協ニュース Number 116

- 1面 個室ユニット推進で共同歩調を  
福祉部会・介護保険部会  
国政ニュース、こちら傍聴席
- 2面 地域包括ケア応援セミナー聴講  
個別ケア研修【静岡】、第2期リーダー研修  
支部便り【神奈川】  
情報セキュリティ
- 3面 施設紹介【第2サンライフ江南】愛知県  
人材育成の視点と方法 後編  
取組紹介【いちご】福岡県  
取組紹介【可渡の郷】新潟県
- 4面 介護ニュース・ダイジェスト  
ズバリ回答！人事・労務のお悩み  
【連載】第7回 高齢者のリハビリ  
【用語解説】アウトカム、ランドデザイン

【発行】一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会 〒226-0015 神奈川県横浜市緑区三保町171-1 TEL：045-921-0462 / FAX：045-921-0472

## 個室ユニット推進で共同歩調を

### 推進協 インセンティブ働く報酬を要望 個室ユニットケア協議連と意見交換会

自民党の個室ユニットケア推進議員連盟（石原伸晃会長）と全国個室ユニット型施設推進協議会（推進協、赤枝雄一会長）の意見交換会が10月6日、東京・永田町のザ・キャピトルホテル東急で開かれ、個室ユニット型施設の現状や課題、介護保険制度などについて意見を交換した。赤枝会長は「マイナスイノベーションで介護職員の不足など、厳しい経営状況が続いている」として個室ユニットにインセンティブの働く報酬改定などを求める要望書を石原議連会長に手渡した。石原議連会長は「個室ユニットは国民のニーズが高く、（推進協の）皆さんと一緒に整備を進めたい」と述べた。



意見交換会の会場

#### 国民のニーズに応える



石原議連会長

意見交換会には、国会議員約30名（代理含む）、推進協会員ら28名が出席し、赤枝雄一議長（議連事務局長）の進行で、個室ユニット型施設が抱える介護報酬体系上の課題や政府の介護施策に対する要望、意見交換などが行われた。経済再生担当相と社会保障・税一体改革担当相などを務める石原議連会長は「政府、与党が一丸となって『一億総活



赤枝推進協会長

## 社福法施行の審議終了

### 社会保障審議会福祉部会

9月26日、社会保障審議会の第19回福祉部会は、社会福祉法改正によって会計監査人の設置が義務付けられた法人の一定以上規模の要件について、平成29年度と30年度は「収益30億円超または負債60億円超」、31年度と32年度は「20億円超または40億円超」、33年度以降は「10億円超または20億円超」とする厚労省の段階導入案を了承した。施行は来年4月1日。9月27日発行の「推進協ニュース速報」参照。改正社福法改正の施行をめぐる一連の審議を終了した。

### 制度改革をめぐる論議大詰めへ

#### 審議2巡目 介護保険部会

9月7日、社会保障審議会の第63回介護保険部会が開かれ、次期介護保険制度改正をめぐる2巡目の論議に入った。同日はロボット・ICTを活用する事業者に介護報酬や基準見直しで対処する。第64回（同月23日）は市町村に介護給付費や要介護認定などのデータ提出を義務付け、国が分析する。第65回（同月30日）は地域支援事業に指標やインセンティブを設け、成果に応じて国が市町村に財政支援する仕組みを検討する。などを大筋で了承したが、ケアプランの有料化などには反対が目立った。4面の「ダイジェスト」参照。

## 国政ニュース



### ◎ 処遇改善への取り組みを強調 安倍首相が所信表明 臨時国会

安倍晋三首相は9月26日開会した臨時国会の所信表明の中で「大きな希望を持って介護や保育の道を選んだ皆さんの高い使命感に応えなければならぬ。技能や経験に応じた給与アップの仕組みを創るなど（介護職員の）処遇の改善に取り組む」と述べ、給与引き上げや補助者活用による負担軽減、再就職準備金の倍増などに取り組む政府の基本姿勢を強調した。

### ◎ 衆院厚労委員長に丹羽氏 参院委員長は羽生田氏

9月26日の臨時国会召集に伴い、衆議院厚生労働委員長に丹羽秀樹議員（自民、愛知6区）、参議院厚生労働委員長に羽生田俊議員（自民、全国比例区）がそれぞれ就任した。

## 平成28年度 役員懇談会



役員懇談会

推進協は10月6日、永田町のザ・キャピトルホテル東急で平成28年度役員懇談会を開催し、役員等24名が参加した。会長の開会挨拶に続き、2つの議題について意見交換が行われた。主な意見は以下の通り。

### 【第1号議題】「今後のユニット型施設の役割とユニットケアについて」○開設

当初は軽度の入居者が多かったが、今は重度化が進み、ユニットケアのあり方も時代に合わせて見直しが必要となっている。○年金の少ない低所得者は、個室ユニットへの入所を希望せず、従来型・多床室でも良いという流れになってきている。○ユニットケア研修のカリキュラムに、医療的視点や外国人職員の受入体制の内容を含めてほしい。【第2号議題】「次期介護報酬改正について」○医療ベッドの削減に続き、次は介護も大幅に削減されることを覚悟しないとけない。推進協は日本の介護が衰退しないよう、グラウンドデザインをしっかりと構築し推進してほしい。○介護職員を育てても収入が低く生活できないからと退職されてしまう。人材不足解消には処遇改善が必須。また、事務局から体制強化のため10月から八木郁夫（しようじゅの里三保・福祉施設長）が事務局局長補佐を務めることが報告された。

## ウの目タカの日 こちら傍聴席

### ◎ 混合介護

○…「混合介護の話が再燃しているが、どうなのか」。ベテラン論説委員が口火を切った。例えば、要介護の夫が介護保険を使ってヘルパーに洗濯や調理などの訪問介護サービスを受け、一方、外出の付き添いや元氣な妻の分の洗濯や調理もやってもらう。一体的、連続的に使えば、便利になるが、今の制度の下で可能なのか、どうか、何が問題なのか。そんな折、公正取引委員会が「認めるべきだ」と提言した。

○…「介護分野でも自由競争が必要で、厚生労働省が難色を示している理由が分からない。利用者にとって、保険サービスと保険外サービスが一緒に利用できないことは不便極まりない。結果的に事業者の増収となり、介護職員の待遇改善にもつながる」と若い経済部記者は提言を大歓迎する。政府の規制改革会議などが後押ししていることもあり、介護保険制度改正をめぐる論議の新たな論点として浮上りそう

だ。○…「厚労省は禁止していないが、ローカルルールで認めている地方自治体がある。ただし、保険適用と保険外のサービスを制度上でどう明確に区分するのか、利益追求のため保険外サービスを強要するような悪質な事業者をどう排除するか、低所得者が介護保険サービスの利用を自己抑制してしまっているのではないか」などの指摘もあり、しっかりと議論が必要だよ」と社会部記者が持論を展開した。（檜）



地域包括ケア応援セミナー聴講

若年層の流出による団地の高齢化 住民連携が団地再生のカギ

9月15日、関東信越厚生局長主催の第2回地域包括ケア応援セミナーに事務局が参加した。同厚生局では、管内で予想される大規模集合住宅での高齢化対策について講演し、UR都市機構などが高齢化が進む団地再生に取組む事例を発表した。

三宅智関関東信越厚生局長が開会挨拶し、高齢者が住み慣れた地域で暮らし、いけるように地域包括ケアを推進していきたいと話した。



開会挨拶をする三宅局長

懸上忠寿地域包括ケア推進課長が、関東信越厚生局地域包括ケア推進の方向性について講演し、同管内の人口規模別二次医療圏の高齢化の推移について説明した。



地域包括ケア推進の方向性について講演する懸上課長

「大都市圏では2035年には85歳以上の高齢者が現在の3倍を超える市があり、急激に高齢化が進む大規模集合住宅の住民を地域でどのように支えるかが今後の課題である。厚生局は地域包括ケアの実現に重要な役割を持つ市町村地域支援事業を支える都県と連携を強化し、本省と自治体のパイプ役として管内都県を支援していく」と述べた。

その後、高齢者支援の事例発表に入り、UR都市機構は、埼玉県、神奈川県等で展開しているIKEAや無印良品、東急ハンズと協力・連携したリノベーション

事例について発表した。

「老朽化が進む建物の内装を新しくして若年層を呼び込むことで、高齢化が進む団地の再生につなげたい」と話した。神奈川県住宅供給公社は横浜市若葉台の事例を発表した。若葉台では平成4年ごろから人口減少が進み、特に若年層が大量流出し、全国平均から見ても急速に高齢化が進んでいる。住替えに関するアンケートを実施したところ、いずれの年齢層も「暮らし満足度」が高く、高齢層ほど「住み続けたい」と答えた。

団地再生には、さまざまな人に関わってもらって多世代交流が重要と考え、各種イベントを実施した。イベントには、NPO・地区社協・病院・福祉施設などにも参加してもらい地域の方と連携する素地を作り、そこから子育て支援施設・24時間見守り交流拠点・訪問看護ステーションへと拡大したことを明らかにした。最後に小森雅一健康福祉部長が開会挨拶した。

個別ケア研修【静岡】

推進協は、9月13日静岡市駿河区の男女共同参画センターあざれあで、PDC Aサイクルを活用した認知症ケア環境指針PEEPに基づき個別ケア研修を開催した。12施設14名が参加し、児玉桂子氏（日本社会事業大学・名誉教授）が講義し、事前課題の取組み事例として原田侑昌氏（あさひが丘）が自施設の取組みを発表した。

児玉氏は「環境支援に取り組み、ケアプランに活かすことで、その人らしい暮らしが実現する。家具、小物、絵、用具の使い方など、アイデア次第で色々な取り組みができ、お金をかけなくても利用者に大きな効果をもたらすことが可能だ」「事前課題では居室に取り組んだ施設が多かったが、居室に入居者がいつも使用しているものがなく、殺風景な印象を受けたものも多かった。改善点はたくさんあると思う。小さなところから取り組んでほしい」と話した。

原田氏は「入居者にとってその方らしい生活環境を維持しながら、苦痛なく過ごしていただけるようにすることが今後の課題だ」と述べた。

第2期リーダー研修

推進協は、9月7日～9日、14日～16日に東京（羽田タートルホール）と静岡（男女共同参画センターあざれあ）で平成28年度第2期ユニットリーダー研修を開催した。東京会場は83名、静岡会場は79名が受講した。

東京会場 9月7日～9日

東京会場では、吉田斉氏（しらとり、介護課長）、秋津克巳氏（しようじゅの里、鶴見、施設長）、鈴木みな子氏（ケアと環境研究会）、野方美香氏（梅光園、施設長）、黒田秀宗氏（みくらの里、介護主任）、篠崎香（セ・シボンかしま、介護主任）の6氏が講義した。

吉田氏は「ユニットケアの理念と意義」について講義し、「今回の研修で学んだことを施設に持ち帰り、入居者にとって良いケアを提供するために役立ててほしい」と話した。

秋津氏は「認知症の理解と権利擁護」について講義し、「認知症の方には説得するのではなく、納得していただくように声をかけをしていくことが大切だ」と述べた。

鈴木氏は「高齢者の生活とその環境」について講義し、「環境支援は失敗することもある。失敗には必ず原因があるので、その原因を考え取り除き、続けていくことが大切だ」とアドバイスした。

黒田氏は「ユニットケア導入の過程」について講義し、自施設の経験から「職員の姿勢が変化すると施設の雰囲気も変化する。職員が熱心に取り組み、1つずつ課題をクリアすることによって施設に穏やかな雰囲気が出てきた」と話した。

静岡会場 9月14日～16日

静岡会場では、黒田秀宗氏（みくらの里、介護主任）、秋津克巳氏（しようじゅの里、施設長）、児玉桂子氏（日本社会事業大学、名誉教授、齋藤英輔氏（竜爪園、介護主任）、石原規章氏（岐南仙寿うれし野、住宅支援主任）、頼実志歩氏（梅香の里、介護課副主任）、古川伸子氏（玄海園、施設長）の7氏が講義した。



第2期リーダー研修 静岡会場

児玉氏は「高齢者の生活とその環境」について講義し、「施設にやわらかい素材を取り入れることによって入居者の様子が変わってくる。また、見守りのしやすい設えを工夫し、入居者の安全な生活の確保に努めてほしい」と事例を交えて環境が高齢者の生活に大きな影響を与えることを強調した。

齊藤氏は「ユニットケア導入の過程」について講義し、自施設が実地研修施設になる過程での失敗談や、導入したことにより施設が少しずつ変わっていった様子を伝え、「自身がユニットケアを理解していないと、スタッフにうまく伝えたり、疑問に答えることができず、最初はうまくいかなかった。まずは、リーダーである私たちが本当の意味でのユニットケアを理解することが大切だ」と話した。

石原氏は「ユニットケアの具体的方法（介護過程の展開）」について講義し、記録の説明では「記録の標準化がケアの標準化につながる。新人でもベテランでも同じように記録ができるよう、記録マニュアルがあると良い。自施設では、ペンの色を職種で分けて記録している」と話した。

頼実氏は「ユニットケアの具体的方法（1日の暮らし）」について講義し、自身の経験から「ユニットケアが良いと分かっても実際にやるのは難しい。自分もそう思っていた。でもやってみて、入居者様の様子を見て、やってよかったと感じている。この研修ではユニットケアの基本的なことを学ぶ。基本が理解できているからこそ、応用ができる。根拠を踏まえたケアができる。そのことを忘れずに日々のケアに当たってほしい」と話した。

情報セキュリティ

推進協事務局は、9月29日、横浜の相鉄岩崎学園ビルで開催された情報処理推進機構（以下IPAという）主催の2016年度IPA中小企業情報セキュリティのセミナーに参加した。

標的型攻撃メール

昨年の秋から日本では特定の企業や人を対象とした攻撃メール（メールの本文や添付ファイル名で受信者の興味を引き、添付ファイルを開かせ、脆弱性を悪用してウイルスに感染させるもの）が増加している。感染しても本人が気づかないうちに重要な情報が抜き取られてしまふといったものである。

不審なメールに気づいたら... 不審なメールに気づいた人は組織で定められている運用ルールに従い、速やかに情報を集約している窓口へ報告することが重要で、一般的には以下のような処理を行うのが望ましいとされている。  
① ネットワークから切り離す。（電源は落とさない）  
② 不審なメールやそのメールの添付ファイルを削除しない。  
③ メールでの連絡はせずに、管理者に電話等で連絡する。

ソフトが最新かチェックするツール PCにインストールされているソフトウェア製品のバージョンが最新であるかどうかをチェックするツールが左記のURLから無償で提供されている。  
http://jynb.jp/apis/myjyn/

映像で知る情報セキュリティ IPAは企業向けにドラマやデモンスクリプションを通じて最新の脅威と対策を学ぶコンテンツを提供している。  
https://www.ipa.go.jp/security/keihatsu/videos/

熊本地震支援

寄付者一覧 ※敬称略・五十音順  
※9月29日に福岡支部の8施設からご寄付いただきました。  
あかり、おほし徳果、サンシャインセンター、まきの木、ライフケアしかた、リハモール福岡、鹿助荘、わかば

Advertisement for the National Research Conference in Niigata 2016. It features a large red and white graphic with the text '全国研修大会 in 新潟 2016'. Below the graphic, it lists the dates '11月24日(日)～11月25日(月)' and the venue 'ANAクラウンプラザホテル新潟'. There are also smaller images of people and a map of Niigata.

Registration information for the conference. It says 'お申し込み受付中!' (Registration open!) and provides online and fax registration details: 'オンラインによるお申し込み⇒ suishinkyo.net' and 'FAXによるお申し込み⇒ 025-270-1417'. It also lists membership fees: '会員：6000円 一般：8000円 情報交換会 6000円' and a note about accommodation: '宿泊お申込は ANA クラウンプラザホテル新潟へ'.

# 愛知県

## 社会福祉法人 サンライフ 特別養護老人ホーム 第2 サンライフ江南



### ～利用者と家族の気持ちをサービスに反映することを心がけて～

【地域紹介】  
第2サンライフ江南は愛知県江南市に平成21年7月に開設しました。市北西部の河野地区には複数の福祉施設があり、同法人の福祉施設も5施設隣接して、地域でも有数のシルバークォーターになっています。

施設敷地内には、小川が流れ、やわらかい木漏れ日があり、む里山を横した庭園があり、自然と共に、利用者様・ご家族・地域の方々そして職員が共存する場所として、より良い施設作りを進めています。



敷地施設内の庭園風景

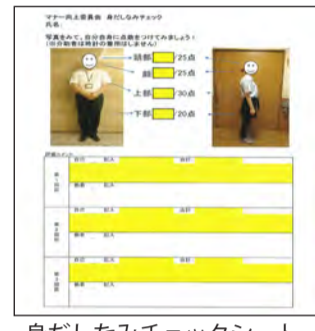
また認可外保育所が併設されており、同法人の施設で働く、小さい子供がいる職員も安心して勤められる職場環境作りにも取り組んでいます。



施設全景

【家族参加のカンファレンス】  
当施設ではご家族とともにサービスを創っていく取り組みとして、ご家族参加のカンファレンスを実施しています。カンファレンスでは、各専門職から利用者様の普段の様子や生活の中で課題となつておられることについてご家族にお伝えしています。ご家族からは「多方面からの詳しい説明で本人の様子がよく分かります」とのお声を頂いています。

【高品質な接遇「マナー」】  
当法人の取り組みの中に、「高品質な接遇マナーの提供」があります。当施設ではマナー向上委員会を中心に接遇マナーの向上に努めています。年2回全職員を対象に接遇マナーチェックを行い、各職員の自己評価の後、マナー向上委員会にて職員一人一人の評価を行っています。これらの活動を通して、個々の接遇マナー向上に繋がっています。



【働きやすい環境作り】  
当施設では働きやすい職場環境への取り組みの一環として、2ヶ月に1度の職員面談を実施しています。面談は職員の悩みや困っていること等を聴く貴重な機会です。一人ですべての仕事をしているのではなく仲間がいるという認識

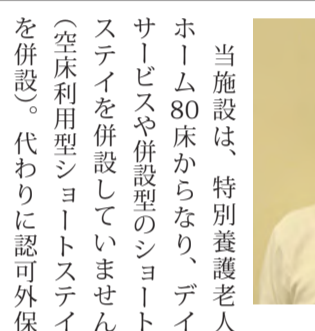
【高品質な接遇「マナー」】  
当法人の取り組みの中に、「高品質な接遇マナーの提供」があります。当施設ではマナー向上委員会を中心に接遇マナーの向上に努めています。年2回全職員を対象に接遇マナーチェックを行い、各職員の自己評価の後、マナー向上委員会にて職員一人一人の評価を行っています。これらの活動を通して、個々の接遇マナー向上に繋がっています。



家族参加のカンファレンス

また、面談の中では「頑張っていること」「成長したこと」を「褒める」ことにも重点を置いていきます。褒められる（認められる）ことで、自己肯定感を高め、職員としての自信、モチベーションの向上にも繋がっています。

【水谷祐之介施設長から】  
当施設は、特別養護老人ホーム80床からなり、デイサービスや併設型のショートステイを併設していません（空床利用型ショートステイを併設）。代わりに認可外保育所や閑静な庭園を併設しており、落ち着いた雰囲気の中で利用者様にお過ごしいただける環境が整っています。今後も、利用者様にゆとりと寛いだ生活を送っていただけるよう、職員一同努力してまいります。



【水谷祐之介施設長から】  
当施設は、特別養護老人ホーム80床からなり、デイサービスや併設型のショートステイを併設していません（空床利用型ショートステイを併設）。代わりに認可外保育所や閑静な庭園を併設しており、落ち着いた雰囲気の中で利用者様にお過ごしいただける環境が整っています。今後も、利用者様にゆとりと寛いだ生活を送っていただけるよう、職員一同努力してまいります。



また、面談の中では「頑張っていること」「成長したこと」を「褒める」ことにも重点を置いていきます。褒められる（認められる）ことで、自己肯定感を高め、職員としての自信、モチベーションの向上にも繋がっています。

【人材育成の視点と方法 後編】  
介護現場での人材不足や勤務状況において、外部への研修参加をさせることが難しい現状がある中では、職場内研修（以下OJTという）を効果的かつ有効に活用することが重要ではないでしょうか。そこで、OJTを行う上での留意点について述べておきたいと思えます。

〒483-8363 愛知県江南市河野町五十間73 TEL:0587-57-9811 FAX:0587-57-9710 【定員】特養80名



【人財育成の視点と方法 後編】  
介護現場での人材不足や勤務状況において、外部への研修参加をさせることが難しい現状がある中では、職場内研修（以下OJTという）を効果的かつ有効に活用することが重要ではないでしょうか。そこで、OJTを行う上での留意点について述べておきたいと思えます。

【人財育成の視点と方法 後編】  
介護現場での人材不足や勤務状況において、外部への研修参加をさせることが難しい現状がある中では、職場内研修（以下OJTという）を効果的かつ有効に活用することが重要ではないでしょうか。そこで、OJTを行う上での留意点について述べておきたいと思えます。

【人財育成の視点と方法 後編】  
介護現場での人材不足や勤務状況において、外部への研修参加をさせることが難しい現状がある中では、職場内研修（以下OJTという）を効果的かつ有効に活用することが重要ではないでしょうか。そこで、OJTを行う上での留意点について述べておきたいと思えます。

【人財育成の視点と方法 後編】  
介護現場での人材不足や勤務状況において、外部への研修参加をさせることが難しい現状がある中では、職場内研修（以下OJTという）を効果的かつ有効に活用することが重要ではないでしょうか。そこで、OJTを行う上での留意点について述べておきたいと思えます。

【人財育成の視点と方法 後編】  
介護現場での人材不足や勤務状況において、外部への研修参加をさせることが難しい現状がある中では、職場内研修（以下OJTという）を効果的かつ有効に活用することが重要ではないでしょうか。そこで、OJTを行う上での留意点について述べておきたいと思えます。

社会福祉法人 河渡の郷福祉会  
特養・河渡の郷 (新潟)  
施設長：佐藤真弥

「河渡(こうど)の郷」は、新潟空港のすぐそばに位置し、今年で開設13年を迎えました。  
【敬老の日になんだイベントを開催】  
新潟市・JA・生花市場に企画していただいたイベントを開催しました。全利用者様70名分のフラワーアレンジメントを頂き、施設全体が花の香りに包まれました。今年100歳になられたK様は、報道陣にカメラを向けられて少し照れながらも、教室で教えていた若い頃を懐かしみ、「私は花と共に人生を歩んできた」と語られました。



社会福祉法人 大福会  
特養・いちご (福岡県)  
施設長：中原修作

今年の「いちご」の敬老会は、先ずはご長寿をお祝いして福田理事長からの表彰、記念品の贈呈があり、そして皆様お楽しみのアトラクションを行いました。  
初めに地元の「和太鼓童衆～WARABESHU～」による和太鼓の演奏があり、迫力ある和太鼓の音が体中に響き渡り、皆様少し興奮気味でしたが、元気を一杯頂いた様子でした。中には感激の涙を流されている方もいらっしゃいました。  
そして、入居者様、利用者様によるカラオケ大会。日ごろの練習の成果をこの時とばかりに気持ち良く歌っていらっしゃいました。とてもお上手でした。今年の敬老会も楽しく賑やかなひと時となりました。(担当：中原修作)



# 介護ニュース・ダイジェスト

9月1日～9月30日

厚生労働省や介護関係団体などの動向をまとめました。詳細はHPなどで確認してください。

## 補給給付特例の周知を要請 (9月2日)

**6要件を提示 厚労省**  
介護保険施設の入所者が第4段階であっても、6つの要件を全て満たせば、補給給付の対象となる特例措置を周知徹底するよう都道府県に通知した。①世帯構成が2人以上②年収から施設利用負担見込み額を引いた額が80万円以下など。

## 「混合介護」推進も 公取委

公正取引委員会は介護分野の自由化を推進するため①株式会社や医療法人にも特養を開設運営できるようにすべき②介護保険サービスと保険外サービスを組み合わせる「混合介護」を認めるべきとする報告書をまとめた。

## ロボット活用に介護報酬 (9月7日)

議題は「介護人材の確保」「保険者の業務簡素化」「認知症施策の推進」の3点。厚労省の提案を大筋で了承した。

## 「介護人材の確保」ロボット・ICTを活用

「介護人材の確保」ロボット・ICTを活用する事業者に介護報酬や基準見直しで対処する。また鈴木健彦老人保健課長は「月額1万円相当を改善するため29年度に臨時の介護報酬改定を行う」と追加説明した。

## 「保険者の業務簡素化」①要介護認定「更新」の有効期間の上限を24カ月 (2年) から36カ月 (3年) へ延長

②2次判定の手続きを簡素化。状態の安定確認に必要な要件は実態研究を実施した上で設定する。

## 「認知症施策の推進」若年性認知症支援コーディネーターと地域障害者職業支援センターや認知症地域支援推進員などの連携を強化する

①1号保険料の特例を公布 (9月7日)  
厚労省は介護保険法施行法の一部を改正する政令を公布した。施行は平成29年4月1日。第1号保険料の段階を判定する際、災害被害などを考慮し、合計所得金額から特別控除(長期譲渡所得及び短期譲渡所得)を控除した金額を用いて判定する。

## 災害被害などを考慮して判定

**2015年介護施設事業所調査**  
厚労省の「介護サービス施設・事業所調査」(昨年10月1日時点)によると、特養は7551施設で302施設増えた。うち個室ユニット型は全特養の57.9%を占めた。ユニットケアを実施している特養は35.1%。

## 10月下旬から調査開始 (9月23日)

**前回報酬改定で検証・研究委**  
介護給付費分科会の介護報酬改定検証・研究委員会は、厚労省が提示した2015年度介護報酬改定の調査票案を了承し、介護給付費分科会に報告することを決めた。①医療機関が行う医療・介護サービスの実態把握②特養の医療的ケアの実態(死亡時の対応など)③計7項目。10月下旬にも調査開始し、来年3月以降に公表の予定。

## ケアプラン有料化は賛否両論 (9月23日)

議題は「保険者等による地域分析と対応」「介護保険総合データベースの活用」「サービス供給への関与のあり方」「ケアマネジメンツのあり方」の4点。厚労省案を概ね了承したが、一部提案で賛否が分かれた。

## 「地域分析」市町村に介護給付費や要介護認定等のデータを義務付け、国が集計・分析する

市町村と都道府県は自己評価して国に報告する。要介護状態の改善度合などのアウトカムの指標は国が設定し、インセンティブに応じて財政支援する。

## 「データベース(介護DB)」市町村のデータ提出(介護給付費など)を法的に位置付け、第三者への提供も可能とする

「サービスへの関与」市町村協議制の対象を拡大する。居室サービスにおいて市町村が都道府県に意見や条件提示できるようにする。市町村が地域密着型通所サービス事業者の指定しないことができるようになる。

## 「ケアマネジメンツ」ケアプランを標準化する

〇入退院時の医療・介護連携を運用基準に位置付ける。〇特定事業所集中減算を見直す。〇ケアプラン作成に利用者負担を導入する(反対意見あり)。

## 保険料の返還を要請 (9月27日)

多くの市町村が第1号保険料の還付ル

ルを誤解していたことが判明し、厚労省は市町村などに対し、過徴分と加算金を1号被保険者に還付するよう通知した。所得が減った場合、2014年度までは「5年程度」遡って還付しなければならぬが、市町村は「過去2年分」しか還付していなかった。

## 老健は減収減益 (9月27日)

福祉医療機構(WAM)の老人保健施設2015年度決算調査によると、定員1人当たり収益は対前年度比0.4%の減収、経常利益率も同0.3ポイント下がった。

## 特養の医療ニーズに対応 (9月30日)

議題は「介護予防の推進」「地域支援事業の推進」「ニーズに応じたサービス内容の見直し」の3点。厚労省が示した論点を大筋で了承した。

## 「介護予防」介護予防・自立支援に特化した指標を検討する

〇高齢者自ら予防活動する場合、インセンティブ(例、ポイント制)を付与する。

## 「地域支援事業」地域支援事業〇国が指標を定め、市町村が指標に基づいて(自己)評価する仕組みをつくる

国はインセンティブに応じて市町村を財政支援する。〇総合事業〇介護予防・生活支援サービス事業及び生活支援体制整備事業を検証し、政策を評価する仕組みにする。〇地域包括支援センター〇土日祝日を開設するなど相談支援を強化する。〇職員の質を向上させるため3職種(保健師、社会福祉士、主任ケアマネ)に「準ずる者」を将来的に解消する。〇国がセンターの評価指標を定め、市町村とセンターに(自己)評価を義務付ける。

## 「サービス内容の見直し」〇リハビリ機能

〇通所リハと通所介護の役割分担と機能強化を明確にする。〇退院後の早期リハの介入を促進する。〇重度者の在宅サービス機能強化。〇小規模多機能型居宅介護や看護小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護などの地域密着型サービスの利用拡大や機能強化などを促すため人員要件や定員等の見直しを介護報酬改定に合わせて検討する。〇地域共生社会〇介護保険サービスの1類型として「共生型サービス(障害者サービスにも対応)」を位置付ける。

## 「特養」医療ニーズや看取りに対応する仕組みを介護報酬改定で検討する

〇プライバシーに配慮した上で一人ひとりのニーズに即したケアを実現する方策を検討する。〇有料老人ホーム〇前払金の保全措置の対象拡大する。〇都道府県が公表している情報一覧表の充実を図る。

## ズバリ回答！ 人事・労務のお悩み

◎天災地変発生時 職員に出勤を命じる  
【今月の相談内容】  
大型台風がこの地域を直撃する予報が出ています。すべての職員に出勤を命じてよいものか思案に暮れています。どのように取扱うべきでしょうか？



【回答】  
大型台風となれば、職員によっては出勤ができないといった問題が生じ、事業の正常な運営に支障が出る可能性があります。しかしながら、通勤時に強風によって看板等が飛んできたり、川が氾濫したりといった災害も予想され、そうした場合に職員に出勤を強制することが本当にいいのかといったことは、改めて考えなければなりません。

天災地変による職員の被害という点では、労働裁判例である七十七銀行事件(仙台地裁・平成26年2月25日判決)が参考になります。東日本大震災で女川支店の屋上に避難をした行員が津波に流されて死亡したことについて、裁判所は「その生命等が地震や津波といった自然災害の危険からも保護されるよう配慮すべき義務を負っていた」と明示し、天災地変発生時における企業の従業員に対する安全配慮義務が適用されることが明確化されました。

労働契約法第5条では、「使用者は、労働契約に伴い、労働者がその生命、身体等の安全を確保しつつ労働することができるよう、必要な配慮をするものとする」と定められており、大型台風においても配慮すべきものと理解しなければなりません。

(監事・社会保険労務士 栗田淳一)

## 高齢者のリハビリ

【第7回】福祉用具の活用について  
その方に合った福祉用具で QOLの向上を！  
高齢者が自立した生活を送る上で、福祉用具が必要になる場合があります。最近では様々な種類の福祉用具が普及しており、どれを選んでよいか迷うことも多いと思います。不適切な福祉用具の使用は、かえって身体機能が低下する危険性もあります。したがって、専門家に相談しながら適切な福祉用具を選択することが重要となります。



特養と在宅での最大の違いは、介護保険の福祉用具貸与サービスの適応があるかないかです。在宅ではこのサービスを利用し、車いすや歩行器などが比較的安価で貸与できます。しかし、施設では基本的に施設が用意したものを利用することになります。

また、最近は福祉用具の間違った使用方法を推奨する動画がインターネットで配信されていることがあります。福祉用具は使用方法を誤ると大きな事故につながる可能性もありますので、使用の際はくれぐれもご注意ください。

(社会福祉法人 兼愛会 統括リハビリテーション担当 鳥澤清人)

【用語解説】  
アウトカム (期待される) 成果、効果」という意味。あるプロジェクト、プログラムを経たのちに得られるであろう効果を指します。似た用語に「アウトプット」がありますが、こちらは「あるプロセスを経たのちに」出来てきたものを意味します。

ブランドデザイン  
大規模な事業などの全体にわたる壮大な計画・構想のこと。介護保険制度をめぐる論議では、今のうちに単年度ごとに検証し、見直すのではなく、将来を見越した制度の再設計を求める意見があります。

今後の予定  
□第2回ユニットケア施設管理者研修 (福岡) 10月26日(水) 28日(金) リファレンス 東武ビル  
□第10回全国研修大会 in 新潟 11月24日(木) 25日(金) ANAクラウンプラザホテル新潟  
□第3期リーダー研修 東京:1月10日(火) 12日(木) 福岡:1月18日(水) 20日(金) 名古屋:1月25日(水) 27日(金)  
□第3回ユニットケア施設管理者研修 (東京) 2月15日(水) 17日(金)

事務局からのお願い  
【支部の活動お知らせください】  
ニュースに掲載いたしますので、支部での活動予定や活動実績等、事務局までお知らせください。  
【施設での活動記事募集中】  
施設での取り組みや行事等のエピソードがありましたら、事務局までお寄せください。

【施設の情報お知らせください】  
施設の広報やお便り等、よろしければ事務局までお送りください。  
【お問合せ先】  
電話:045(921)0462  
メール:info@suishinkyo.net  
事務局山崎まで

平成28年度  
ユニットケア研修  
受講者募集  
お申込みは Web で  
suishinkyo.net  
お申込受付中!  
ユニットケア施設管理者研修  
ユニットリーダー研修  
第3期ユニットリーダー研修  
(1/10～12 東京・1/18～20 福岡・1/25～27 名古屋)

